

スノーストックカバー

「コストのかかる人工雪」「貴重な天然雪」を直射日光・雨から守り、長期間の雪の保存が可能です。スノーストックカバーを使えば雪不足でも通常より1~2ヶ月前からスキー場のオープンが出来ます。

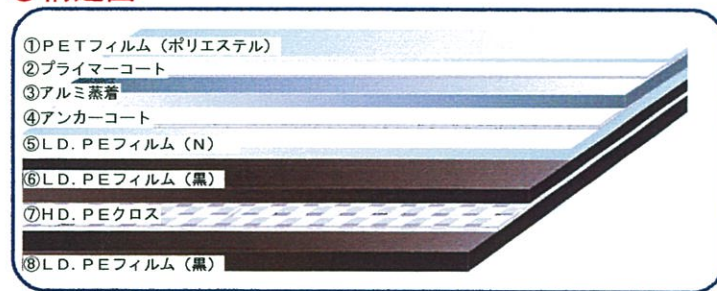


スノーストックカバーの特長

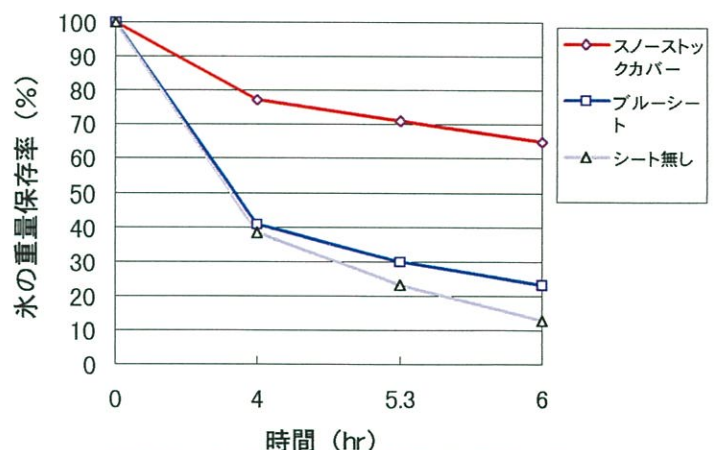
- **雪の保存効果が高い**
従来のブルーシートに比べ2倍の保存性能があります。
- **コストメリットが大きい**
長期間雪を保存できますので、電力料金や作業回数が軽減されます。加えて、より早く、より確実な日程でオープン可能となり売上増大も期待できます。
- **軽くて作業が楽**
軽量の素材でカバーを作っていますので、15m x 15m の大きさでも比較的楽に作業ができます。
- **自然環境に優しい**
廃棄・燃焼時に有毒ガスは一切発生しません。

サイズ・構造

- **サイズ** ; 15 m x 15 m (重量 : 40kg)
- **構造図**



氷保存率の比較



氷融解量とコストメリットの比較

	スノーストック	ブルーシート
面積当たり(1日)の氷融解量 (g/m ² /day)	17.685	38.700
(ton/200m ²)	(3.4)	(7.6)
累計融解量 (ton)	408	912
電力費の損失(千円)	1,224	2,736

*測定条件 ; 12~18時 最高気温16.9℃ 最低気温12.3℃
氷の融解量、電力量の損失は200m²/日の氷の山を15日間製造(200m²の山15個)中に連続して晴天が続いたと仮定した場合の試算結果です。

*強風時の対策としてシート全体を押さえるネット (30cm目合い) 1.5m x 1.5m とシートの仮止め用のゴムバンド (別売) も扱っております。

製造・販売元
東京都中央区日本橋人形町1丁目1番10号
トスコ株式会社
産業資材部
TEL 03(3667)2341
FAX 03(3667)7567